



記者発表資料

地域の安全・安心を守る！ 茨城県建設業協会員が被災地にてボランティア活動を実施

茨城県建設業協会では、台風19号により被災した常陸太田市、常陸大宮市、大子町に協会員を派遣し、災害ゴミの運搬等ボランティアを実施します。

本年10月12日～13日にかけて、日本列島を襲った台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。茨城県建設業協会(会長:石津健光)は、被災した翌日から、崩落した堤防や道路の応急復旧工事などに尽力するとともに、茨城県との災害協定に基づき、ドローンによる現地調査などを実施しました。

今回の台風19号では、常陸太田市や常陸大宮市、大子町において、多数の住宅が浸水による被害を受け、多くの災害ごみが発生しました。民家の敷地横などに、現在も多くの災害ごみが積み上げられています。しかしながら、運搬車両やマンパワーの不足により集積場への運搬が進んでいないのが現状です。

そこで、茨城県建設業協会では、台風19号による被害の少なかった地区の会員企業から社員や2tダンプ車などを現地へ派遣し、災害ごみの収集運搬等にかかるボランティア活動を実施します。

ボランティア派遣の概要は以下の通りとなります。

ボランティア派遣地	開始日	作業内容
常陸太田市	10月21日(月)	災害ごみ運搬等
常陸大宮市	10月20日(日)	災害ごみ運搬等
大子町	10月20日(日)	災害ごみ運搬等

※ボランティア参加支部は、8支部(高萩・鉾田・潮来・竜ヶ崎・土浦・筑西・常総・境)となります。

※期間および人数は、派遣地により異なります。

**※取材者の把握、ならびに協力先への報告のため、
取材へお越しいただける場合は、下記担当へご一報ください。**

【発表記者クラブ】

茨城県政記者クラブ

【お問合せ先】

一般社団法人 茨城県建設業協会

担当:大内 TEL:029-221-5126、携帯090-4094-5075

m-ouchi@ibaken.or.jp